

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公開番号】特開2011-92745(P2011-92745A)

【公開日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2011-019

【出願番号】特願2010-259598(P2010-259598)

【国際特許分類】

A 61 B 17/02 (2006.01)

A 61 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 61 B 17/02

A 61 B 1/00 320 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外科手術用アクセス装置であって、以下：

物体を受容するための第1の通路を有するアクセスハウジング；および

アクセスハウジングに取り付け可能な基部であって、該基部が、以下：

切開部を少なくとも部分的に裏から覆うように患者の切開部内に位置付け可能な可撓性ライナー部材；

該ライナー部材の1つの端部に接続され、身体の内部表面に係合するように該身体内に位置付けるために適合された第1の部材；

該ライナー部材の他の端部に接続される第2の部材；および

該基部の第2の部材を係合するためのアクセスハウジングに隣接して配置された膨張可能部材であって、該膨張可能部材が、第2の部材を変位させるように膨張可能であり、これによって、該ライナー部材が、切開部を形成する組織に係合し、少なくとも部分的に該切開部を開創し、該第2の部材が、該アクセスハウジングの通路の内部寸法よりも小さい内部寸法を規定する、膨張可能部材、

を備える、基部、

を備える、外科手術用アクセス装置。

【請求項2】

請求項1に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記基部の第1の部材が弾性である、外科手術用アクセス装置。

【請求項3】

請求項2に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記基部が、前記アクセスハウジングに取り付けられ、前記膨張可能部材に隣接して配置されるハウジングマウントを備え、該ハウジングマウントが、該基部の第2の部材に連結され、かつ該第2の部材を変位させるために該膨張可能部材の膨張の際に該アクセスハウジングに対して移動可能である、外科手術用アクセス装置。

【請求項4】

請求項2に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記膨張可能部材が、バルーン部材

を備える、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 5】**

請求項 2 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記第 1 の部材および第 2 の部材が、それぞれ、弾性環状部材である、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 6】**

請求項 5 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記バルーン部材が、環状形状を規定する、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 7】**

請求項 1 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記アクセスハウジングが、外側トラフを備え、前記膨張可能部材が、該外側トラフに少なくとも部分的に収容される、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 8】**

請求項 7 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記基部が、第 2 の部材に連結され、前記外側トラフに隣接して配置されるハウジングマウントを備え、該ハウジングマウントが、前記アクセスハウジングに対して移動するように適合され、これによって、膨張可能部材の膨張の際に、該ハウジングマウントが、前記第 1 の部材から変位する、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 9】**

請求項 1 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記アクセスハウジングが、実質的に流体密な関係で前記物体を受容するために適合されたシールを有する、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 10】**

請求項 9 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記アクセスハウジングに取り付け可能であるアダプターを備え、該アダプターが、前記シールを通る第 2 の通路を規定するアクセス部材を有する、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 11】**

請求項 10 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記アダプターが、前記第 2 の通路を横切って配置される弁を有し、該弁が、実質的に流体密な関係で外科手術用機器を受容するように適合されている、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 12】**

請求項 1 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記膨張可能部材が、バルーンである、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 13】**

外科手術用アクセス装置であって、以下：

アクセスハウジングであって、該アクセスハウジングが、中心長手軸を規定し、外科医の手の通過のために該アクセスハウジングの中を延びる長手方向開口部を有するアクセスハウジング；

該アクセスハウジングに取り付けられた開創器基部であって、該開創器基部が、切開部を規定する組織部分に係合するように該切開部内に位置付けるための可撓性ライナーを有する、開創器基部；および

該アクセスハウジングに取り外し可能に取り付けられたトロカールアダプターであって、該トロカールアダプターが、該長手方向開口部内に受容するように位置付けられたトロカールスリーブ、および流体密な関係で外科手術用機器を受容するように適合されたトロカール弁を備える、トロカールアダプター、

を備え、

該開創器基部が、該ライナーのそれぞれの端部に接続される第 1 の環状部材および第 2 の環状部材を備え、該第 1 の環状部材が、体腔内の内側組織部分に係合するように、切開部を通して位置付け可能であり、該第 2 の環状部材は、該アクセスハウジングに関して取り付けられ、

該第 2 の環状部材が、該アクセスハウジングの通路の内部寸法よりも小さい内部寸法を

規定する、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 1 4】**

請求項 1 3 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記アクセスハウジングが、外科医の腕および前記トロカールスリーブのそれぞれの周りにシールを形成するように適合されたシールを備える、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 1 5】**

請求項 1 4 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記シールが、外科医の腕の非存在下または前記トロカールスリーブの非存在下において閉鎖するように適合されている、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 1 6】**

請求項 1 5 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記シールが、ゲル材料を含む、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 1 7】**

請求項 1 3 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記開創器基部が、前記アクセスハウジングに取り付けられ、かつ前記第 2 の環状部材に係合可能な膨張可能部材を備え、該膨張可能部材が、前記第 1 の環状部材に対して該第 2 の環状部材を変位するように膨張して、前記ライナーが、切開部を規定する組織を少なくとも部分的に引き出すように適合されている、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 1 8】**

請求項 1 7 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記膨張可能部材が、環状バルーンを備える、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 1 9】**

請求項 1 8 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記開創器基部が、第 2 の環状部材に結合され、かつ前記環状バルーンによって係合されるように前記アクセスハウジングに対して位置付けられる環状マウントを備え、該環状マウントが、第 1 の環状部材に対して該第 2 の環状部材を変位させるために、該環状バルーンの膨張の際に該アクセスハウジングに対してより適合される、外科手術用アクセス装置。

**【請求項 2 0】**

請求項 1 に記載の外科手術用アクセス装置であって、前記アクセスハウジングが、長手軸を規定し、外側トラフを備え、前記膨張可能部材が、該外側トラフに対して前記基部の前記第 2 の部材を長手方向に変位させる、外科手術用アクセス装置。